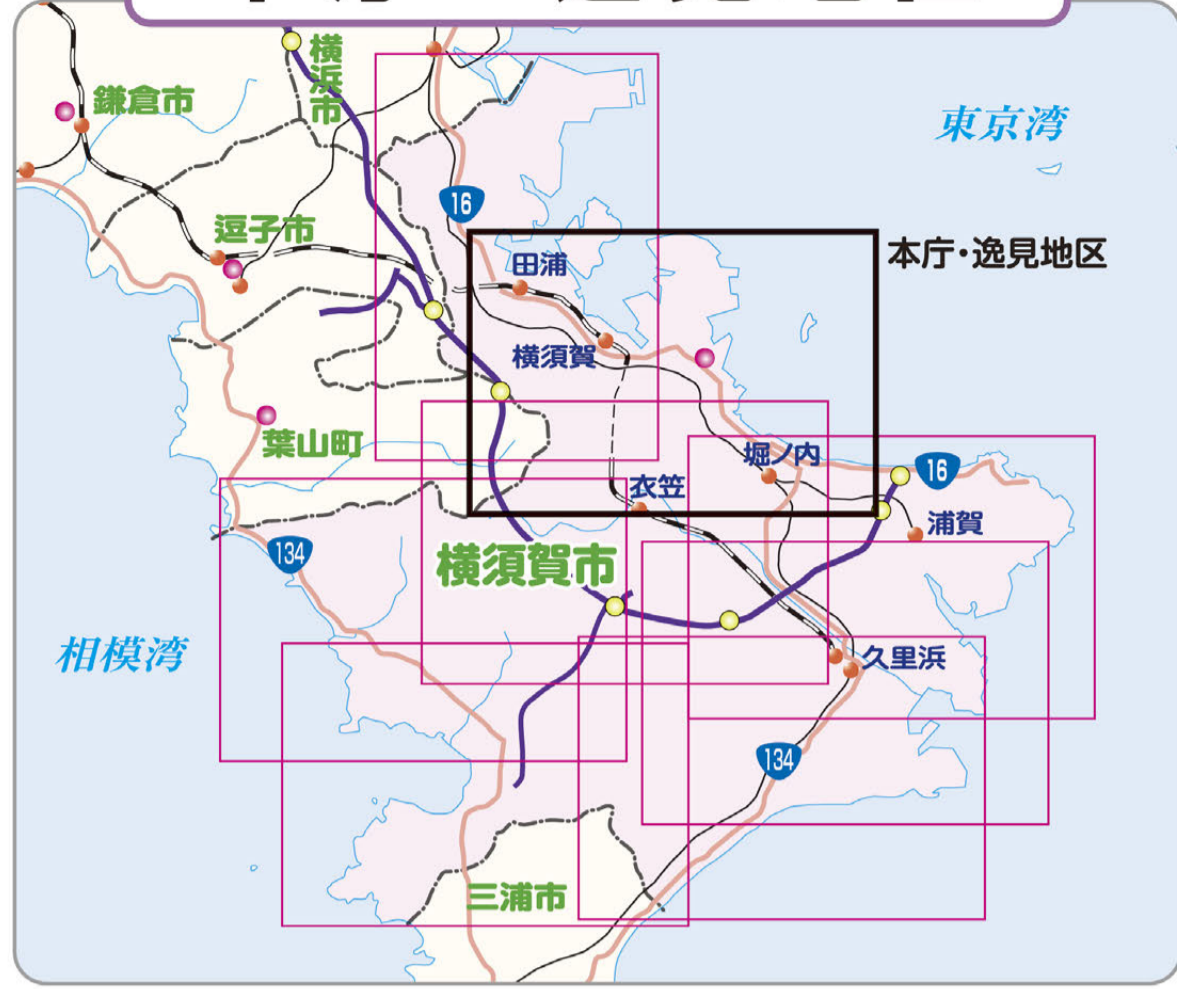


横須賀市 災害リスクマップ

本庁・逸見地区



横須賀市は、半島地形のため、海・山・川があり地域によっては、孤立してしまう場所や、土砂災害・洪水・津波など複数の災害にあつたおそれがある場所もあるため、それぞれの災害への「命を守るための備え方」を、しっかり市民の皆様にお伝えするため、この横須賀市災害リスクマップを作成しました。

「ひと目で、自宅や地域にどのような災害リスクがあるかを知っていただく」「災害リスクに対し、まず命を守るために、自分の避難場所、避難経路をマップ上に書き込む」

この2つが、横須賀市災害リスクマップの目的です。

災害対策の第一歩は、まず「命を守ること」です。ご家庭内や各コミュニティ内で、様々な防災対策を考えるきっかけとなるような、入り口的な使い方をいただければと考えています。

令和6年作成

このマップの使い方

地図面で、ご自宅など生活している場所を確認してください。
 下記のような、何らかの色のついた区域に入っていますか？入っていたら、その場所は土砂災害や水害、津波などの自然災害にあつてしまうリスクがあります。
 お住まいなどが、何らかの自然災害にあつたリスクのある区域に入っている方は、この紙面内の対象項目を確認いただき、災害への備えをしましょう。必ず避難場所を確認しておいてください！

- 土砂崩れなどのおそれがある区域
土砂 をご確認ください！
- 津波のおそれがある区域
津波 をご確認ください！
- 大雨で水があふれるおそれがある区域
洪水 をご確認ください！
- 津波のおそれがある区域
・大雨で水があふれるおそれがある区域
津波 と **洪水** をご確認ください！
- 高潮のおそれがある区域
高潮 をご確認ください！

土 砂

斜面に近づかない

天候が崩れたら、山や斜面に近づかないようにしましょう。
 様子を見に行つて、土砂災害に巻き込まれたケースがあります。

不安を感じたら早めに避難

土砂災害が予想される場合、市は天候が悪化する前、明るい時間に風水害時避難所（優先開設）を開設します。
 不安を感じたら、風水害時避難所が、安全な家族・知人の家などへ避難しましょう。
 避難指示が発令された地域の皆様は、ただちに避難所などへ避難しましょう。難しければ、崖と反対側の2階以上の部屋に垂直避難してください。

大きな揺れを感じたら即避難

大きな揺れで斜面が崩れることがあります。大きな揺れを感じたら、ただちにげきなどから離れてください。
 また、自分の家の周辺や避難経路などが土砂崩れのおそれがある区域にはまっているかを確認してください。

神奈川県土砂災害情報ポータル **検索** 県内の土砂災害の危険度などの情報を確認できます。

洪 水

河川に近づかない

河川は、大雨による増水で、はん濫の危険性がありますので、近づかないでください。
 河川沿いに住んでいる人は、地域の防災情報などに耳を傾け、すぐに避難できるようにしましょう。

地面より低い場所は通らない

立体交差する道路で、路面の高さが前後に比べて低くなっている道（アンダーパス）や、歩行用の地下道路は、集中豪雨が発生すると冠水する危険性があるので通らないようにしてください。

状況に応じた避難を

市は天候が悪化する前、明るい時間に風水害時避難所（優先開設）を開設します。
 不安を感じたら、災害が発生する前の安全な時間に風水害時避難所、安全な家族・知人の家などへ避難するなどの「水平避難」をしてください。
 外に出るのが危険と判断した場合には、自宅の2階以上に避難するなどの「垂直避難」をしてください。

災害時の情報収集

横須賀市では防災行政無線をはじめ、複数の手段を用いて、市民の皆様へ情報を発信しています。災害時は「自分の身は自分で守る」ことが大切です。市民の皆様も、複数の手段を活用し、情報を入手してください。

色の色は市役所などが知らせる情報 色の色は自らで取りにくい情報

- 防災行政無線**
災害情報や気象警報などを放送しています。
- 広報車**
緊急時は広報車で市内を巡回放送します。
- 防災メール**
事前にご登録いただいた携帯電話へ、防災行政無線の放送内容を配信します。
登録は二次元コードまたはアドレスから行ってください。
※一部の機種ではご利用いただけません。
bousai-yokosuka@raidan.ktaiwork.jp
- 緊急速報メールなど**
避難指示の発令など緊急度の高い情報を、市内に存在する携帯電話（ドコモ、ソフトバンク、auの対応機種のみ）に一斉送信します。
- J:COM「防災情報サービス」**
室内に受信機を設置することで、防災行政無線の放送内容をはっきりと聞き取ることができます。
ご希望の方は、J:COMカスタマーセンターへお申し込みください（有料）。
TEL: 0120-914-000
（受付時間 9:00～18:00）
- テレビ放送「d」ボタン**
テレビリモコンの「d」ボタンから「天気」が「災害情報」を選択。（株）ジェイコム湘南・神奈川（デジタル11チャンネル）でも放送しています。
※「d」ボタンはメーカーによって位置が異なります。
- FMブルー湘南78.5MHz**
大規模災害時は地域に特化した防災情報を放送。インターネットでも聞くことができます。
- テレホンサービス**
防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。
TEL: 046-822-3900
- 市ホームページ・LINE・X(旧:ツイッター)・災害監視カメラ**
市公式LINE・X(旧:ツイッター)では防災行政無線の内容を通知します。

お問い合わせ先 横須賀市危機管理課 TEL: 046-822-9708 / FAX: 046-827-3151
 e-mail: ps-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

より一層の備蓄を

非常用備蓄品

今までは最低3日分の備蓄をお願いしていましたが、復旧まで想定以上に時間を要するおそれがあります。
1週間分以上を備蓄しましょう。

- 非常食品**
レトルト食品、ドライフーズ、カップ麺、栄養補助食品、菓子類など
- 飲料水**
1人1日3リットル×7日分が目安
- 給水用品**
ポリ容器、バケツなど
- 卓上コンロ、カセットボンベ**
- 固形燃料**
- 携帯トイレ**
1人7日分
- 生活用品**
ライター、ろうそく、ナイフ、ビニール袋、軍手、ウエットティッシュなど
- 家庭の事情にあわせて準備するもの**
常備薬、予備メガネ、生理用品、ほ乳瓶、おむつなど

※非常用備蓄品は、浸水などの被害にあわないよう、2階以上などの安全な高い場所に保管してください。

津 波

「遠く」より「高く」ただちに避難

強い地震や、長い揺れを感じたら、ただちに海岸から離れ、急いで高台や津波避難ビルなど堅牢な建物の3階以上に避難しましょう。震源の位置や津波注意報など、正確な情報を収集しましょう。

避難しながら声かけを

避難の際には、周囲に声をかけ津波の発生を知らせるなど、その場でできる「助け合い」をしましょう。
 また、地域の津波避難訓練に参加するなど、日ごろから津波からの避難について考えましょう。

津波は繰り返し襲ってくる

津波は繰り返し襲ってきますので、荷物をとりに戻ったり、様子を見るために海岸へ近寄らないでください。
 津波注意報の時は、海岸に近づかないようにしましょう。
 津波警報、大津波警報の時は、ただちに周囲の高台へ避難してください。
 津波避難ビルは、緊急的な避難場所としてあります。

高 潮

海岸に近づかない

台風や暴風雨の時は、海岸に近づかないようにしましょう。
 また、高潮は川を遡上して川のはん濫を起こすおそれもあります。川にも近づかないようにしましょう。

不安を感じたら早めに避難

高潮発生が予想される場合、市は天候が悪化する前、明るい時間に風水害時避難所（優先開設）を開設します。
 不安を感じたら、風水害時避難所が、安全な家族・知人の家などへ避難しましょう。
 避難指示が発令された地域の皆様は、ただちに避難所などへ避難しましょう。難しければ、2階以上の部屋に垂直避難してください。

神奈川県雨量水位情報 **検索** 県内の雨量・水位情報、河川情報カメラ画像を確認できます。

洪水予報 **検索** 国や県の発表する河川の洪水予報を確認できます。

国土交通省 川の防災情報 **検索** 全国の雨量・水位情報、河川情報カメラ画像を確認できます。